

授業概要

リスクマネジメントは色々な分野が対象になるが、本授業では企業経営と金融分野におけるリスクマネジメントの理論と実際を対象とし、これまで実際に起こった幾つかの経済・金融恐慌を概観しどのようなリスクが内在していたのかを検証する。企業は浮き沈みの激しい競争社会のなかでリスクにどのように対処しているかについての基本原理について講義します。金融分野のリスクについては市場リスク、信用リスク、流動性リスクなどについて具体的なリスク対処手法について講義します。また1929年世界大恐慌、日本のバブル崩壊後の経済・金融恐慌（1990～98年）、リーマンショック・ユーロ経済危機（2007-10年）に内在したリスクとその政策的対処方法について講義します。講義の理解を深めるために、毎回授業の後半にその日の復習として15分程度のライティング（ミニット・ペーパーと呼びます）をおこないます。

授業計画

第1回	オリエンテーション授業：授業の進め方・リスクマネジメント論講義の全体概要
第2回	(A)企業経営におけるリスクマネジメント：基本論理・リスクの測定方法
第3回	企業リスクマネジメントの事例（1）東京電力・東芝・東京ディズニーリゾート他
第4回	企業リスクマネジメントの事例（2）コマツ・雪印乳業・英国プレミア・リーグ
第5回	企業リスクマネジメントの事例（3）日本列島における自然災害と企業のリスク対策
第6回	(B)金融におけるリスクマネジメントの基本論理・定義・種類・歴史
第7回	金融部門におけるリスクの定義と測定方法（確率分布）
第8回	市場リスク：バリュエーション・アット・リスク、モンテカルロ・シミュレーション他
第9回	信用リスク（1）格付けの概念・信用格付けモデルの構築と検証
第10回	信用リスク（2）格付けの実例（社債・国債・地方債）
第11回	流動性リスク（国債の償還リスク）、リスクとリターンの理論
第12回	(C)経済危機・金融危機に潜むリスクの所在
第13回	1930年代の世界大恐慌・1997年アジア通貨危機
第14回	1990-2000年のバブル崩壊と日本経済の経済停滞・2007-2010年リーマンショック
第15回	全体のまとめ・質問と回答
第16回	筆記試験

到達目標

リスクマネジメントについての主要な用語や分析ツールを理解して、企業や金融分野で発生するリスクにどのように対処すれば良いかを理解できるようにする。

履修上の注意

本授業のための専用ノートを用意して講義内容を記録してください。授業で配布する資料は時系列的に自分のファイルに綴じてください。遅刻は減点になります。

予習復習

ときどき宿題を出しますので翌週の授業のときに必ず提出してください。

評価方法

定期試験60%、授業内レビュー・ライティング（毎回ミニット・ペーパー作成）等40%

テキスト

簡易テキストとプリントを随時配布します。参考書は『事例で学ぶリスクマネジメント入門』（同文館出版）、『金融リスクマネジメント』（東洋経済新報社）、『リスクマネジメント』（ミネルヴァ書房）